

広報企画事業（ニュースレター・概要・年報）（③企08-14-4/5）

目 的

研究所の業務に関する情報発信のうち特に紙媒体である『年報』『概要』『ニュース』、及び不定期に作成するパンフレットなどの編集・刊行を実施する。また、1階エントランスロビーにおけるパネル展示などを通じて、来訪者に対しても研究所の活動をわかりやすく伝えることを目指す。

成 果

1. 『年報』2013年度版の刊行

2014（平成26）年6月30日付で年報を刊行した。2013年度版の構成は従来通り、機構、年度計画及びプロジェクト報告、その他の研究活動、個人の研究業績、研究交流、主な所蔵資料、研究所関係資料、東京文化財研究所プロジェクト索引とした。発行にあたっては、各部・センターの年報担当者が原稿のとりまとめを行った。

2. 『概要』2014年度版の刊行（研究支援推進部企画渉外係が編集を担当）

『概要』2014年度版を刊行した。概要は研究所の組織や活動内容を、写真を多用して日英2カ国語により簡潔に紹介している。各ページの構成の決定や原稿のとりまとめについては、各部・センターの概要担当者が行った。

3. 『東文研ニュース』の刊行（研究支援推進部企画渉外係が編集を担当）

『東文研ニュース』を和英併記により3回発行した。基本的にはウェブサイトに掲載した毎月の「活動報告」のうち、各部・センターで特に紙媒体でも広報したいとして選んだ記事を掲載する。この他、東文研ニュースには、文化財やその保護に関する特定の話題について見開き2ページにより紹介するコラムや、刊行物案内、人事異動などを掲載している。

4. パネル展示の調整

1階エントランスロビーに研究成果を伝えるためのパネルを作成し、展示した。26年度は前年度予算で作成した文化遺産国際協力センターによる「海外の文化財を守る日本の伝統技術」と題したパネルを4月21日に設置、3月29日まで展示した。また、26年度末に保存修復科学センターによる近代文化遺産に関するパネルを作成、2015（平成27）年3月30日に展示した。

研究組織

○二神葉子、田中淳、山梨絵美子、津田徹英、塩谷純、小林公治、小林達朗、皿井舞、安永拓世、城野誠治、橘川英規、福永八朗、河合大介、小山田智寛、高橋佑太（以上、企画情報部）

広報委員（概要部会）：岡田健（保存修復科学センター長） 各部門概要部会員：今城裕香（研究支援推進部）、塩谷純（企画情報部）、高桑いづみ（無形文化遺産部）、早川典子（保存修復科学センター）、友田正彦（文化遺産国際協力センター）

広報委員（年報部会）：田中淳（企画情報部長） 各部門年報部会員：平出秀文*1、長澤由美子*2、今城裕香（以上、研究支援推進部）、小林公治（企画情報部）、久保田裕道（無形文化遺産部）、佐野千絵（保存修復科学センター）、山内和也（文化遺産国際協力センター）

広報委員（東文研ニュース部会）：山梨絵美子（企画情報部副部長） 各部門東文研ニュース部会員：今城裕香（研究支援推進部）、津田徹英（企画情報部）、菊池理予（無形文化遺産部）、早川泰弘（保存修復科学センター）、江村知子（文化遺産国際協力センター）

*1 平成26年6月まで *2 平成26年7月から